

1 水産総合研究所の沿革と組織

(1) 位 置

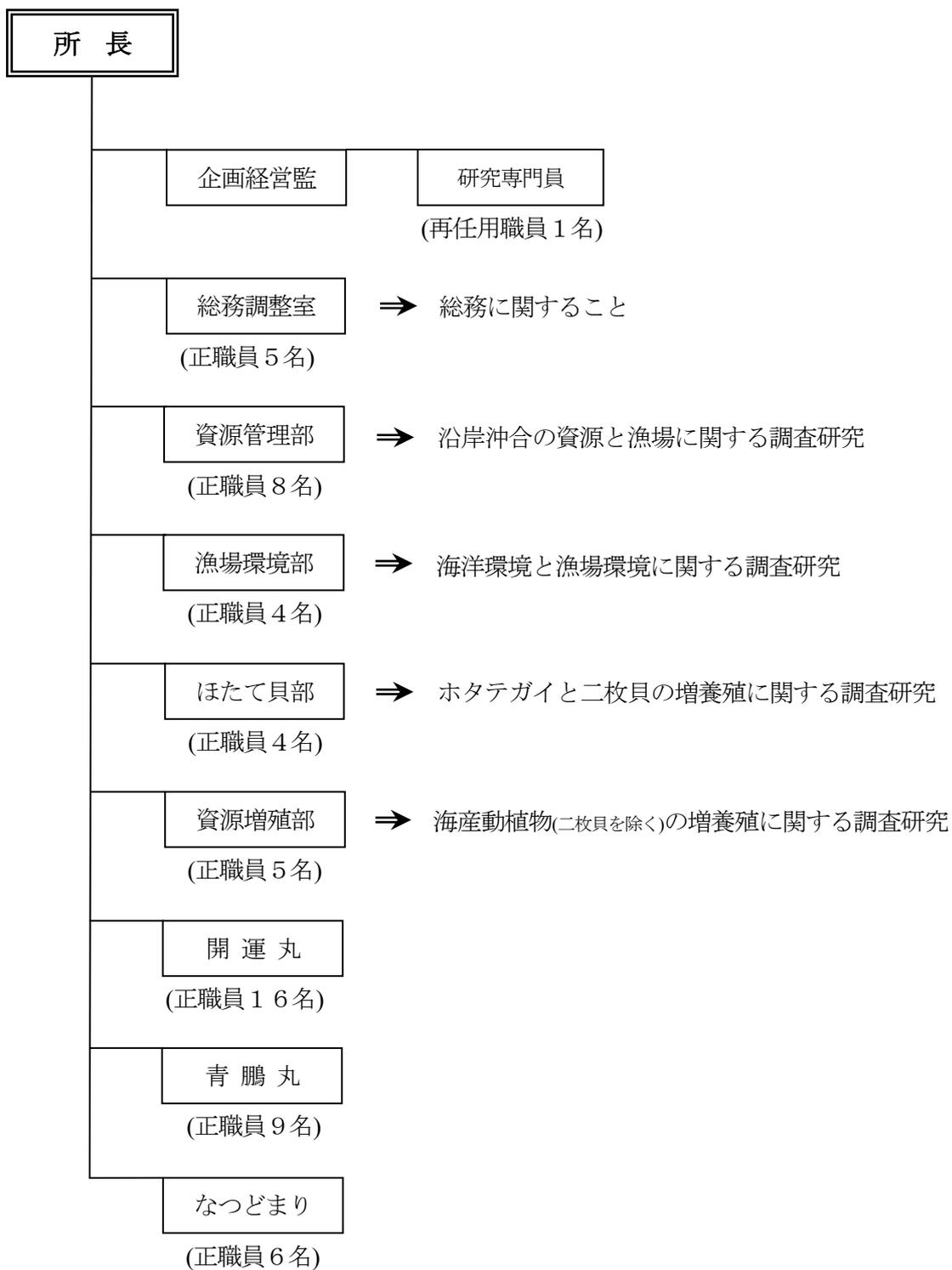
東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10

(〒039-3381 TEL 017-755-2155 FAX 017-755-2156)

(2) 沿 革

明治33年2月	青森県水産試験場設置認可（農商務大臣）
明治33年4月	青森市大字大野字長島青森県庁構内に設置し事務開始
明治34年	相坂鮭鱒人工ふ化場を上北郡藤坂村に設置
大正13年	本場を八戸市湊町に移転
昭和23年	黒石養魚場を南津軽郡中郷村に設置
昭和23年	本場を西津軽郡鱒ヶ沢町に移転、庁舎新築
昭和24年	陸奥湾分場をむつ市に設置
昭和25年	黒石養魚場を黒石市大字石名坂に移転
昭和27年	陸奥湾分場が陸奥湾水産増殖研究所と改称され独立機関となる
昭和43年	水産増殖研究所を平内町茂浦に移転し、水産増殖センターと改称する
昭和51年3月	鱒ヶ沢町大和田に水産試験場新庁舎を竣工
昭和56年4月	十和田市に青森県内水面水産試験場を設置する（相坂、黒石両養魚場及び内水面関係業務を移管）
昭和58年2月	青森県水産試験場漁業研修センター竣工
平成5年	水産増殖センター新庁舎竣工
平成12年4月	水産試験場創立100年
平成13年3月	八戸市ポートアイランドに漁具倉庫新築
平成15年4月	試験研究機関の統合により青森県水産総合研究センターと改称され、下部機関として増養殖研究所、内水面研究所が配置となる
平成18年4月	水産総合研究センター庁舎を鱒ヶ沢町舞戸町に移転
平成21年4月	青森県水産総合研究センターと増養殖研究所を統合し、地方独立行政法人青森県産業技術センター水産総合研究所となり、庁舎を平内町へ移転

(3) 機 構 (2023 年度)



事務所：29名
 試験船：31名
 計：60名

(4) 施 設

① 土 地	20,971.30m ²		
② 建 物	5,461.74m ²		
・管理研究棟	鉄筋コンクリート造	1部2階建	1,735m ²
・実験機械棟	鉄骨造	平屋建	1,122m ²
・飼育実験棟	〃	〃	1,563m ²
・研修宿泊棟	木造	2階建	271m ²
・作業棟	〃	平屋建	324m ²
・取水ろ過棟	鉄筋コンクリート造		103m ²
・倉庫棟	木造	平屋建	108m ²
・発電機棟	鉄筋コンクリート造	〃	59m ²
・車庫棟	鉄骨造	〃	74m ²
・油庫棟	〃	〃	8m ²
・その他			95m ²
③ 主な施設			
・海水取水ポンプ	7.5KW	3台	
・逆洗ポンプ	18.5KW	1台	
・ろ過槽(重力式)	80トン/時	3基	
・ろ過水貯水槽	120トン	1基	
・ろ過貯水タンク	9トン	1基	
・屋外コンクリート水槽	12トン:6面、10トン:8面		
・親魚棟コンクリート水槽	30トン:1面、20トン:1面、10トン:4面		
・屋内FRP水槽	30トン:2面、10トン:2面、5トン:3面		
・ブローワー	3.7KW:2台、5.5KW:1台		
・発電機	500KVA	1台	
・海水温度制御装置(アクアトロン)	温海水 5系統 35トン/時 冷海水 4系統 6トン/時		
・海況自動観測装置(ブイロボット)	3基		
④ 試 験 船			
・開 運 丸	199トン	ディーゼル	1,176KW (鋼船)
・青 鵬 丸	65トン	ディーゼル	1,000PS (鋼船)
・なつどまり	19トン	ディーゼル	610KW (軽合金)

2 職員名簿

部署	職名	氏名	部署	職名	氏名
	所長 企画経営監 総括主幹研究専門員	中田 健一 伊藤 欣吾 野呂 恭成		船長 機関長 通信長	笹原 一雄 角田 達美 金屋 富明
総務調整室	室長 主事 主事 技能技師 技能技師	長谷川 清 石山 太一郎 松村 康平 上村 健 三戸 俊和	開運丸	一等航海士 一等機関士 一等機関士 二等航海士 二等機関士	小野 晶広 肴倉 厚雄 榭 修悦 星野 元紀 磯沼 純一
資源管理部	部長 研究管理員 主任研究員 主任研究員 研究員 研究員 研究員 研究員	今村 豊 和田 由香 田中 友樹 村松 里美 松谷 紀明 佐藤 大介 傳法 利行 石黒 智大		甲板長 甲板員 甲板員 甲板員 甲板員 甲板員 機関員 司厨員	稲葉 白虎 佐々木 惇大 川口 翔平 寺井 舜哉 佐々木 斗吾 長谷川 海斗 清水 ひかる 加福 文二
漁場環境部	総括研究管理員 (部長事務取扱) 主任研究員 主任研究員 研究員	高坂 祐樹 三浦 太智 扇田 いずみ 長野 晃輔	青鵬丸	船長 機関長 一等機関士 二等航海士 二等航海士	本堂 洋一 佐藤 正樹 埴見 泰宏 小又 総 今泉 健介
ほたて貝部	部長 研究管理員 主任研究員 研究員	山内 弘子 小谷 健二 遊佐 貴志 色川 七瀬		甲板長 甲板員 機関員 司厨員	北嶋 雄大 安田 雄哉 大坂 拓巳 阪崎 勝
資源増殖部	総括研究管理員 (部長事務取扱) 主任研究員 研究員 研究員 研究員	吉田 雅範 杉浦 大介 中山 凌 高橋 拓実 長内 万葉	なつどまり	船長 機関長 二等航海士 甲板員 機関員 主任海事専門員	八木橋 憲一 逢坂 健幸 小笠原 大郎 須藤 蓮登 笹原 颯真 長津 司
			事務所：29名		
			試験船：31名		
			計：60名		

3 歳出予算執行状況

単位：千円

事業種目	事業内容	決算額
法人管理運営費支出		
管理運営費支出		
法人調整費支出	法人全体の調整(各種委員会等)	371
物価高騰影響額対応事業費支出	研究所の管理運営費(電気料等)	10,399
水産総合研究費支出		
管理費支出		
一般管理費(自己収入)支出	研究所の管理運営費(自己収入分)	1,519
一般管理費(交付金)支出	研究所の管理運営費(交付金分)	29,801
試験船警備費支出	試験船「開運丸」「青鵬丸」の巡回警備業務委託料	2,803
運行管理費支出	試験船「開運丸」「青鵬丸」の運行管理費	28,020
上架修理費支出	試験船「開運丸」「青鵬丸」の維持修繕費	11,568
船舶保険料支出	試験船「開運丸」「青鵬丸」「なつどまり」の船舶保険料	5,015
なつどまり運行管理費支出	試験船「なつどまり」の運行管理費	9,525
アクアトロン施設運営費支出	アクアトロンの設備保守管理	20,740
陸奥湾海況自動観測システム管理費支出	陸奥湾海況自動観測システム運営費	11,729
非常勤職員等経費支出	非常勤労務員の賃金等	8,778
船舶修繕費支出	試験船「開運丸」「青鵬丸」の維持修繕費	51,980
着水ドローン修理費支出	着水ドローンの修繕費	189

単位：千円

事業種目	事業内容	決算額
水総研業務費支出		
資源管理研究費支出		
重要魚類モニタリング調査事業費支出	底魚類の資源評価のための基本情報のモニタリング	668
ブリの来遊予測に関する調査研究事業費支出	ブリの来遊予測手法の開発	1,000
アイナメに寄生した <i>Liliatrema sobolevi</i> の影響評価	寄生虫 <i>Liliatrema sobolevi</i> のアイナメに対する生物的な影響の調査	200
漁場環境研究費支出		
イカ類漁海況情報収集・提供事業費支出	スルメイカの漁期前調査及び漁期中の回遊状況等の情報提供	288
陸奥湾海況情報提供事業費支出	海況情報データ提供及び情報交換	303
スルメイカの漁況予測に関する調査研究事業費支出	効率的なスルメイカ操業を行うために必要な漁況予測手法の開発	308
ほたて貝研究費支出		
ホタテガイ増養殖安定化推進事業費支出	天然採苗予報調査、増養殖実態調査	1,053
ICTを利用したホタテガイ養殖作業の効率化技術の開発事業費支出	へい死軽減と成長促進が図れる養殖工程を判断できるアプリケーションを開発	381
資源増殖研究費支出		
マツカワの養殖種苗生産技術開発事業費支出	量産技術及び効率的な養殖技術を開発	709
『豊かな海』創出に向けた本県潮間帯における貝類多様性の解明事業費支出	貝類相の現地調査	179
魚類防疫支援事業費支出	海産魚類の防疫巡回指導	33
研究費交付金事業費支出		
資源管理に必要な情報提供事業費支出	日本海、太平洋、津軽海峡の海況情報提供	675
海面養殖業高度化事業費支出	ホタテガイのへい死原因解明	800
放流効果調査事業費	栽培漁業推進のための放流技術開発試験	605
新たな栽培・養殖魚種の増養殖体制構築事業費支出	アイナメの成長などの生態調査	1,939
日本海で育む磯根資源利用促進事業費支出	ドローンを使った海藻資源調査	504
ホタテガイ成貝づくりによる生産体制強化事業費支出	ホタテガイ成貝づくりの推進のため、適正な成貝養殖方法の検討と付着生物ラーバの出現動向の把握、対策の検討	2,856
陸奥湾漁場保全対策基礎調査事業費	陸奥湾の長期的な漁場環境保全のための調査	1,356

単位：千円

事業種目	事業内容	決算額
水総研受託研究費支出		
水総研受託研究費支出		
藻場造成効果調査委託事業費支出	水産基盤整備事業により整備した漁場の効果調査	20,654
資源評価調査委託事業費支出	本県周辺海域での利用可能な魚種の資源量を評価するための関係資料整備	38,163
資源管理基礎調査委託事業費支出	県資源管理指針等に基づき、適切な資源管理推進のための調査	3,581
国際漁業資源評価調査(まぐろ・さめ)委託事業費支出	国連海洋法条約に基づき、マグロ・サメ類の科学的データを完備するための調査	864
あかいか資源調査事業費支出	太平洋沖合のアカイカ資源の動向及び漁場形成要因解析のための調査	20,559
大型クラゲ出現調査及び情報提供委託事業費支出	大型クラゲ出現情報及び情報提供	1,144
車力マコガレイ種苗作出試験事業費支出	種苗放流のためのマコガレイ種苗生産試験	385
野辺地マコガレイ種苗作出試験事業費支出	種苗放流のためのマコガレイ種苗生産試験	385
三厩ウスメバル放流種苗作出試験事業費支出	種苗放流のためのウスメバル種苗生産試験	200
未来をひらく「あおもりの浜」活性化事業費支出	増養殖推進に向けた事例調査・提言	4,322
水総研受託事業費支出		
水総研受託事業費支出		
新規漁業就業者対策事業費支出	漁業の基礎知識、技術を身につけるための資陽塾の運営	1,174
漁業公害調査指導事業費支出	陸奥湾の漁場環境保全のための監視調査	354
温排水モニタリング調査事業費支出	東通原子力発電所の温排水による影響調査	764
EU向け輸出ほたて安全対策事業費支出	対EUホタテガイ生産海域における毒素産出性プランクトン調査	761
貝毒プランクトンモニタリング調査事業費支出	国内向け二枚貝の貝毒及び貝毒原因プランクトンのモニタリング	2,558
漁船活用型資源情報収集等支援事業費支出	漁獲量データの収集及び情報提供	210
青森県量子科学センターの装置等量子ビーム活用研修評価事業費支出	青森県量子科学センターの装置等量子ビーム活用研修に要する経費	12

※職員人件費については産業技術センター本部予算で一括計上

※他の研究所から配分替えを受けて執行した事業費を含む

※配分替えにより他の研究所で執行した事業費を除く

4 調査、研究報告及び資料・情報等の発行（2023年）

（1）公刊した報告書等

報告書名	発行年月	備考
2022年度青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告	2024年9月	発行は2024年度
2023年度青森県産業技術センター水産部門事業概要年報	2024年7月	発行は2024年度

（2）提供情報

情報名	期間及び回数
ウオダス漁海況速報 No. 2162～2197	2023年4月～2024年3月（36回）
陸奥湾海況情報 No. 1439～1489	2023年4月～2024年3月（51回）
ホタテガイ採苗速報 No. 753～772	2023年3月～2024年3月（20回）
ホタテガイ養殖管理情報 No. 213～223	2023年4月～2024年2月（11回）
付着生物（ユウレイボヤ等）ラーバ情報 No. 127～144	2023年7月～2024年3月（18回）
貝毒発生状況等速報	2023年4月～2024年3月（30回）
陸奥湾の水温（東奥日報紙）	2023年4月～2024年3月（毎日）
ウスメバル資源量予測について	2023年4月（1回）
陸奥湾湾口海域のイカナゴ幼魚（コウナゴ）分布調査結果について	2023年6月（1回）
陸奥湾マダラ稚魚分布調査結果について	2023年7月（1回）
2023年日本海カレイ類新規加入量調査結果について	2023年8月（1回）
青森県日本海沖合のハタハタ分布調査結果について	2023年9月（1回）
ヒラメ稚魚着底量調査結果（日本海、太平洋）	2023年10月（1回）
イカナゴ類夏眠場調査について	2023年10月（1回）
2023年漁期のハタハタ見通し	2023年12月（1回）
陸奥湾のマダラ漁獲状況について	2024年3月（1回）

（3）青森県水産研究情報 水と漁

発行番号	発行年月
第43号	2023年7月
第44号	2023年12月
第45号	2024年3月

(4) 発表論文等

①学会等での発表

- 1) 中山 凌, 安岡法子, 小谷健二, 吉田雅範: 陸奥湾から発見されたヨーロッパヒラガキ, 2023年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会, 函館市(2023.9)
- 2) 中山 凌, 安岡法子, 小谷健二, 吉田雅範: 陸奥湾に定着していたヨーロッパヒラガキ, 2023年度 軟体動物多様性学会大会, 大阪市(2024.1)
- 3) 杉浦大介: 青森県日本海におけるサザエの肥満度の季節変化. 令和5年度日本水産学会秋季大会, 仙台市 (2023.9) .

②その他の投稿

- 1) 福森啓晶, 中山 凌, 阿部広和, 鷲尾正彦, 杉本 匡: 陸奥湾における外来種シマメノウフネガイの初記録および浅虫水族館所蔵標本に基づく宮城県沿岸への侵入履歴, *みちのくベントス*, **7**, 63-69, (2023.4)
- 2) 石黒智大, 三澤 遼: 青森県および岩手県から得られた東北地方初記録のヨコシマサワラとその生態学的知見. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, **37**, 10-15, (2023.10).
- 3) 石黒智大, 三澤 遼: 青森県三沢沿岸から得られた北限記録のタテジマキンチャクダイ. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, **42**, 34-37, (2024.3).
- 4) 中山 凌, 福森啓晶: あぶら棧橋周辺で確認された潮間帯性貝類および芦崎周辺の貝類相, *むつ市文化財調査報告*, **53**, 34-46, (2024.3)
- 5) 野呂恭成: ミズダコの性成熟, 生殖と成長. *懇話会ニュース, 日本水産学会誌*, 89(5), 479-480, (2023.9).
- 6) 野呂恭成, 桃井駿介: ミズダコ (*Enteroctopus dofleini*) の性成熟, 生殖と成長. *月刊海洋—総特集—タコ類の生物学と増養殖*, *月刊海洋*, 55(11), 559-567, (2023.11).